



記憶に残る2学期に!

2学期の取り組みの重点

保護者の皆様のご協力のお陰で、夏休み中、大きな事故等もなく、2学期を迎えることができました。本当にありがとうございました。

82日間の2学期がスタートしました。私は、子どもたちにとって「記憶」に残る2学期にしたいと思っています。子どもたちには、夢や目標の実現を目指してひたむきに取り組み、仲間と大きな感動を味わってほしいと願います。

二度とない小学校生活を、生涯忘れることのない「記憶」に残るものにしたいたいと思います。かけがえのない「記憶」は、未来を生き抜く力になるはずです。

そこで、充実の2学期となるよう、次のことに力を入れて取り組んでまいります。保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

ドリーム&チャレンジ! 自分を輝かせ、仲間の和を育みます

町の幼小中一貫教育の目標「夢を語り、夢の実現に向かって努力する子どもの育成」を目指して、子どもたちが夢や目標に向かってチャレンジする取り組みを行います。

- ★行事等で（ほたるっ子発表会、マラソン記録会、町文化祭の作品作り等）
- ★各学級で（目標に向かって学級全員が一丸となって取り組む集団活動）
- ★そのほか（外部講師によるドリーム&チャレンジ特別講座、暗唱チャレンジ）

夢や目標を持つことで、毎日の生活に張り合いが生まれます。そして、夢や目標が実現できたことを想像しただけでわくわくします。つまり、日々、小さな幸せを味わうことができます。子どもたちには、特に、学級のみんなで何かを成し遂げた喜びと仲間との連帯感、そして大きな感動を味わってほしいと思います。

「ありがとう」のシャワー 温かい人間関係を築きます

これまで取り組んできた「気持ちの伝わるあいさつ」のアップデートを目指します。

- ★子どもたち、そして教職員も「ありがとう」の言葉を交わすよう心がけて、学校中に「ありがとう」のシャワーが降り注ぐようにします!

ありがとうと感謝を伝えると、セロトニンやオキシトシンという「幸せホルモン」が体内に分泌されると言われています。「言葉遣いは心遣い」です。相手を思いやり、やさしく、あたたかい言葉を交わし合える学校づくりに努めます。

「はっぴょう」の力 自分の考えや思いを伝える力を育みます

授業を中心に、子どもたち一人一人の伝える力を育てる取り組みを行います。

- ★授業で（国語科の授業を軸に、話し方や聴き方の指導に力を入れます!）
- ★行事で（授業で培った発表の力を発揮できるように指導します!）
- ★日常で（集会や校内放送、学級朝の会・帰りの会で発表の力を育みます!）

自分の思いや考えを持ち、進んで伝え合うことができるようにしたいと思います。

「はっぴょう」の力を育むことを通して、思考力・判断力・表現力の向上につなげていきたいと考えています。



始業式で2学期の抱負を述べる4年生の代表児童。堂々とした素晴らしい発表でした!